

16. 事業名「第2回自然体験活動指導者(NEALリーダー)養成事業」

～夜須高原ボランティアステップアップ研修～

1 事業の必要性

青少年の「生きる力」を育み、健やかな心と体、人と人とのより良い関係を築いていく上で、自然体験をはじめとした体験活動を経験することは、青少年の自立にとって非常に重要なことである。人間は自然の一部であり、自然に生かされていることを実感できるのが自然体験活動である。かつては様々な体験活動を行う機会が日常的にあったが、現代ではその機会に恵まれておらず、体験活動の機会を意識的に提供する必要性が求められている。そのためには、正しい知識と経験を有する指導者による指導が必要である。

2 趣 旨

全国体験活動指導者認定委員会が制定した「自然体験活動指導者養成カリキュラム」に則り、青少年向け自然体験活動プログラムにおいて、子どもの発達段階に応じて安全に指導ができる自然体験活動指導者(NEALリーダー)を養成する。

3 事業の特色

- ・元山岳救助隊の薄井氏を招き、ハーネスを使った崖登りや熊本震災における自然の変化等を通して自然体験活動の特質や指導について講義・実習を行った。
- ・NPO法人アースハーバー代表理事の高橋氏を招き、ユミギリやモミギリ、ヒモギリ等を用いた原始的な火起こしを通して、自然体験活動の技術を学んだ。
- ・熊本再春荘病院医師の島津氏を招き、主に不登校や引きこもりの子供への自然体験活動を通じた支援の講義を通して、自然体験活動の対象者理解について学んだ。

4 期 間

平成28年12月3日(土)～平成28年12月4日(日)

5 企画・運営のポイント

- ・元山岳救助隊の方や現役の医師を講師として招き、自然体験活動の内容を踏まえつつ、多角的な視点で学びを深めることができるよう工夫した。
- ・座学中心ではなく、講師と参加者の双方向的な学びにつながる実習となるようアクティブラーニングの手法を活用した。

6 成 果

- ・ボランティアだけでなく、自然体験に興味がある参加者や既に自然体験活動を実践している指導者も巻き込んで開催することができた。
- ・主に自然体験活動を実践している講師だけでなく、元山岳救助隊や医師など異業種の講師を迎えて実施することができた。
- ・急きょ2日目の早朝にステップアッププログラムとして、雨天時における火起こしや災害時における身の回りの物を使った火起こしなどを行ったところ、希望制だったにもかかわらず、全参加者が参加し、参加者の学びの意欲を引き出すことができた。
- ・複数の参加者から「体験が深められた」といった意見を得た。

7 課題

- ・参加者から、養成講座に関係なく、ボランティアのスキルアップ研修を開催してほしいと要望があったので、そういった要望に柔軟に応えることができるかが課題である。
- ・参加者の体験だけでなく、理解を深めるための振り返りの時間を設けるのが課題である。
- ・ステップアップ講座後に参加者が活躍できる事業等が少ないことから、そういった活躍の場を創出していくことが課題である。

プログラム・日程

◆1日目：12月3日（土）

9：30～10：00	ガイダンス	
10：15～11：15	自然体験活動の特質①	薄井 良文 氏
12：45～14：45	自然体験活動の特質②	薄井 良文 氏
15：00～17：00	自然体験活動の技術	高橋 素晴 氏

◆2日目：12月4日（日）

9：00～10：30	自然体験活動の指導	薄井 良文 氏
10：45～12：15	対象者理解	島津 智之 氏
13：30～14：00	まとめ	
14：00～14：30	認定試験	

活動の様子

自然体験活動の特質



自然体験活動の技術



対象者理解



○参加実績：12名

本部アンケート集計結果（アンケート回収数：10）

項目	満足	やや満足	やや不満	不満
①事業全体	100%	0.0%	0.0%	0.0%
②活動内容	100%	0.0%	0.0%	0.0%
③事業の進め方	100%	0.0%	0.0%	0.0%
④職員対応	100%	0.0%	0.0%	0.0%

○参加者の感想

- ・体験が深められた
- ・講師の先生が面白かったです。とても充実した2日間でした。
- ・柔軟にスケジュールを変えてくれた点が良かったです。
- ・実技が多くて理解しやすかった。
- ・すごくためになり、目標達成もできました。
- ・認定制度に関係なくこういったセミナーワークショップをお願いしたい。
- ・とても楽しかったです。
- ・貴重な経験となりました。